

問1 5世紀の大和政権は、朝鮮半島から得た鉄資源をどのように活用して国内の支配を広げたとされていますか。当時の状況を説明したものとして最も適切なものを選んでください。（2019年 群馬県公立入試 類似）

- 鉄製の武器や鎧を量産して軍力を高め、関東から九州にかけての広範囲な地域の豪族を支配下に置いた。
- 鉄製の鏡や装飾品を大量に作り、それらを各地の豪族に配ることで宗教的な権威を認めさせた。
- 鉄製の貨幣を鑄造して全国に流通させ、租・庸・調の税制を確立することで経済的に支配した。
- 鉄製の大型船を建造して中国の唐と直接貿易を行い、最新の法制度を取り入れることで中央集権化を進めた。

問2 古墳時代のヤマト政権における、大王と豪族の関係性や政治の仕組みについて述べたものとして、正しいものはどれですか。

（2026年 和歌山公立入試 類似）

- 大王は、有力な豪族たちと連合し、彼らを従えることで政権を運営した。
- 大王はすべての豪族を武力で排除し、対等な関係を持つ勢力が存在しない独裁体制を築いた。
- 大王は中国の皇帝から派遣された官僚であり、豪族の意見を聞かずに政治を行った。
- 大王は宗教的な権威のみを持ち、実際の政治や軍事の権限はすべて豪族が握っていた。

問3 世界の歴史において、7世紀初頭にムハンマドがイスラム教を創始した時期、日本において行われていた政治体制や社会状況として正しいものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）

- 北九州の「倭の奴国の王」が、後漢の皇帝から金印を授かっていた。
- 平城京が建設され、律令に基づいた中央集権的な国家体制が整備されていた。
- 大王を中心として近畿地方の豪族で構成された大和政権による統治が行われていた。
- 卑弥呼が「親魏倭王」の称号を授かり、邪馬台国が30余りの国を従えていた。

問4 大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）のような巨大な古墳が築かれた背景や、その特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）

- 墳丘の周囲には三重の堀が巡らされており、王の強大な権力を誇示する目的があったと考えられる。
- 古墳の表面には、仏教の影響を受けた装飾として、寺院から伝わった瓦が並べられていた。
- 死者を弔うために、土で人や動物の形を作って焼き上げた土偶が墳丘の周囲に並べられた。
- 古墳の形状は、日本独自の形式である円墳が採用され、大陸の影響を一切排除して造られた。

問5 古墳時代に、大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築造された歴史的な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 神奈川県公立入試 類似）

- 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。
- 大陸から伝来した仏教の教えに基づき、故人を盛大に供養することで国家の安寧を祈願するため。
- 大規模な稲作の普及により余った土地を、洪水から守るための避難場所として整備するため。
- 海外からの侵略を監視し、防衛するための軍事的な物見櫓や要塞として機能させるため。

問6 渡来人が日本列島にもたらした技術や文化のうち、当時のヤマト政権（大和朝廷）が組織を運営し、他国との交渉を行う上で、特に記録や伝達的手段として不可欠となったものはどれか。（2017年 徳島公立入試 類似）

- 漢字
- 仏教
- 須恵器の製作技術
- 機織りの技術

問7 5世紀頃、近畿地方を中心とする大和政権（ヤマト王権）の支配が各地に広がっていったことを示す資料として、大阪府にある大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築かれました。こうした時期に、地方の有力者の墓から出土したもので、大和政権の王の名称が刻まれていたとされる遺物はどれですか。（2017年 愛知公立入試 類似）

- 漢の皇帝から授けられたとされる金印
- 王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀
- 近畿地方で多く見つかった銅鐸
- 装飾が施された石包丁

問8 大阪府堺市に位置する大仙古墳（仁徳天皇陵古墳）が属しており、周辺の古墳とともに2019年に世界文化遺産に登録された古墳群の名称として正しいものはどれか。（2020年 三重公立入試 類似）

- 吉野ヶ里遺跡群
- 三内丸山遺跡群
- 百舌鳥・古市古墳群
- 登呂遺跡群

問9 日本最大級の規模を誇る前方後円墳である大仙古墳（大山古墳）が位置する場所として正しいものはどれですか。日本全国をいくつかの地域に分けた際、現在の大阪府堺市が含まれる地方の名称を選択しなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）

- 東北地方
- 関東地方
- 近畿地方
- 九州地方